

株式会社三菱ケミカルホールディングス



<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/sustainability/activities/environment/biodiversity.html>

《将来に向けた取組方針》

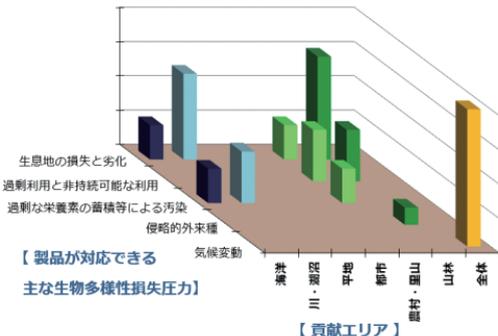
三菱ケミカルホールディングスグループでは、生物多様性の保全是、食料や水、土壌や燃料、遺伝資源や薬用資源、水や大気の浄化、気候の調整や災害の緩和、生物の生息・生育環境の提供、自然に根ざした固有の文化や科学の源泉となるなど、豊かで快適な人類社会の実現に不可欠な、いのちの基盤と考えています。私たちは生物多様性宣言の趣旨に賛同し、生物多様性の保全に寄与する活動をこれまで以上に推進し、生態系を含む環境の保護への取り組みを通じて、関連するSDGsの達成と多様な生命が支えあう持続可能な社会の実現に貢献していきます。

〈具体的取組み事例〉

生物多様性貢献製品の選定

生物多様性の直接的な貢献度合い、ライフサイクルでの環境負荷、財務インパクトなどを包括的に定量評価する手法を確立し、2016年より貢献度の高い製品群を選定しています。

生物多様性保全貢献製品の貢献内容の全体像



熱帯雨林保全への貢献

東南アジアからの輸入木材が使用されることの多いコンクリート型枠用合板の代替として、繰り返し使用可能で半透明な「Xシート型枠」を開発しました。この製品は、東南アジアの熱帯林の生物多様性保全への貢献が期待され、生物多様性アクション大賞2016優秀賞「えらぼう部門」を受賞しました。



生物多様性に配慮した災害復興

西日本豪雨災害(平成30年7月)や台風19号(2019年10月)で決壊した堤防の緊急対策として、生物多様性保全に優れ、急速施工と高い護岸機能を持つ「ゴビマット」が採用されました。特に水辺環境において、自然再生と生物多様性に配慮した土壌浸食防止ブロックマットとしてこれまでに2万件以上の国内施工実績を有しています。



施工状況



自然植生初期状況